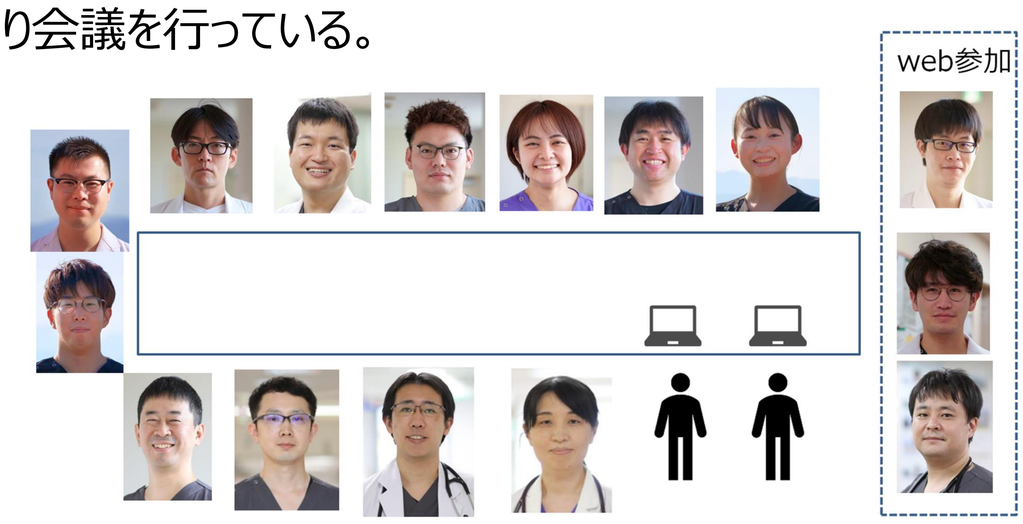
1on1ミーティングを主軸とした専攻医の研修振り返りシステムの設立・実施・評価

井口誠二[1)]、張磨則之[1)]、志村直子[1)]、 鶴田真[1)]、塚原恭平[1)]、瀧瀬康洋[1)] 、向山憲[1)]　1)山梨民医連後期研修委員会

背景と目的

甲府共立病院（山梨民医連）には後期研修中の専攻医と指導医が所属する後期研修委員会があり、月1回の振り返り会議を行っている。



2022年度末、専攻医の定期面談において、「困っていることは何か」という問いに対して「後期研修委員会が一番苦手」という回答があった。

これをきっかけに、委員会の存在価値を再定義し、その価値を具現化するため、委員会の「リスタート」を図った。

方法・対象

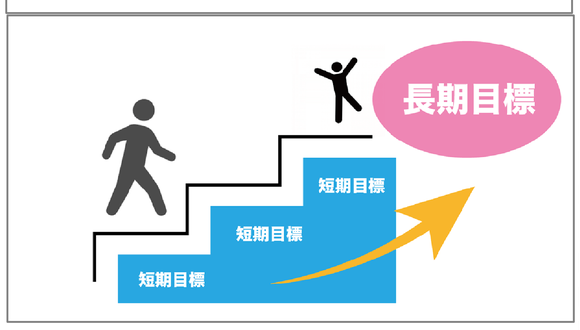
後期研修委員（指導医）と事務で存在価値について協議し、7ヶ月ほどの議論を経て、次の5つに定まった。

①課題抽出・目標設定の援助

②問題解決の援助

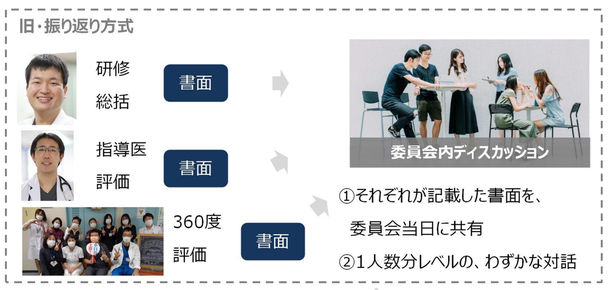
③感情表出の促し・受け止め

④長期的な目標や進路、
ビジョン、志などの決定支援

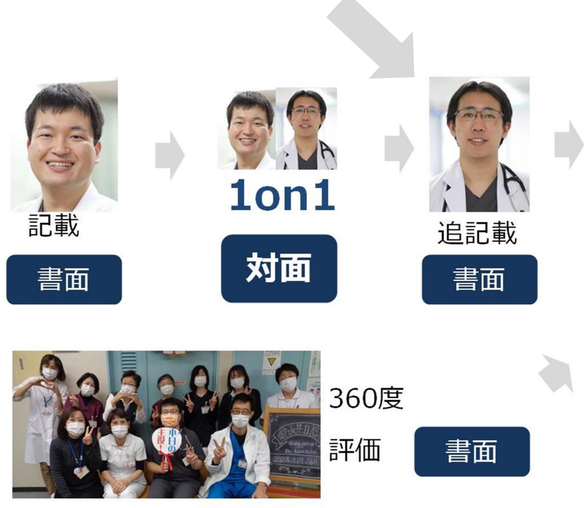


⑤専攻医同士が共鳴し育ち合う土壌の創出

特に①を具現化するため、研修振り返り用紙の刷新と1on1ミーティングの新設などの運営変更を行い、2024年4月より新システムでの運用を開始した。



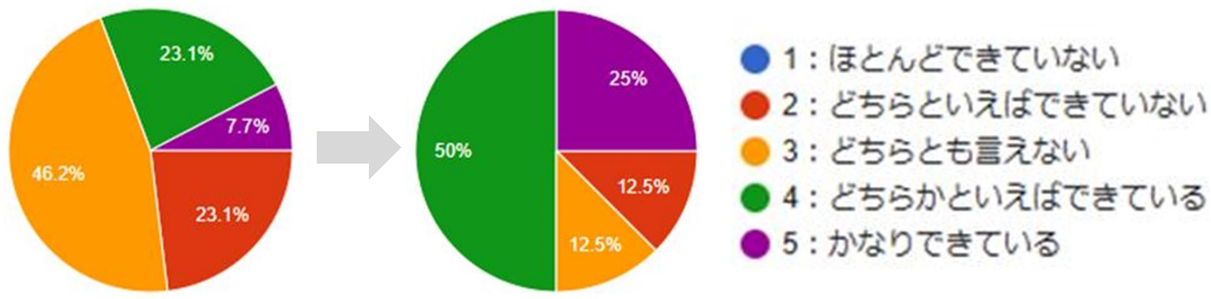
運用開始後は、主に全体会でのディスカッションを活発化するため、指導医は役割として専攻医へのコメントや専攻医同士の対話を促す振りをするルールを徐々に増やしていった。



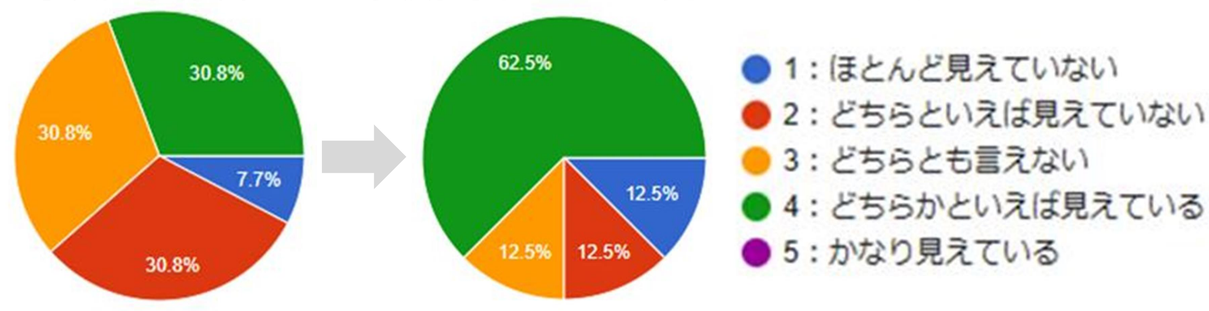
結果

新システムの運用開始前の2024年3月と、
運用開始後の2025年3月に、専攻医向け・指導医向けに5段階評価の効果判定アンケートを行った。

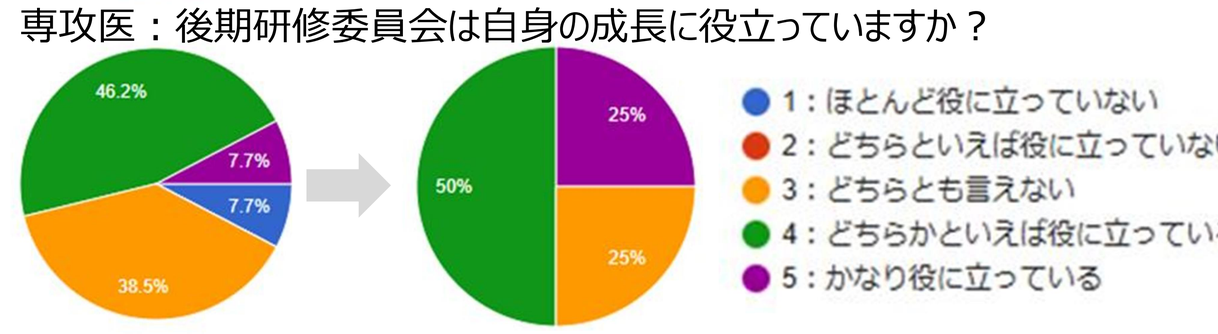
専攻医：研修における課題抽出や目標設定はできていますか？



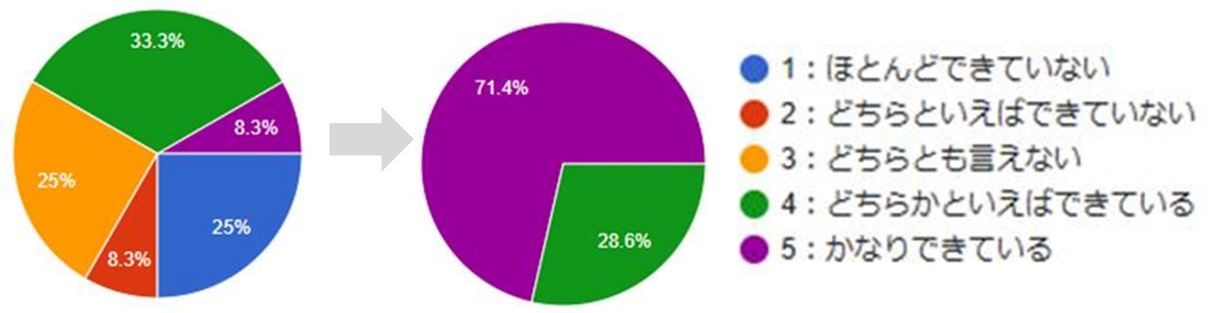
専攻医：医師としての長期的なビジョンは見えてきていますか？



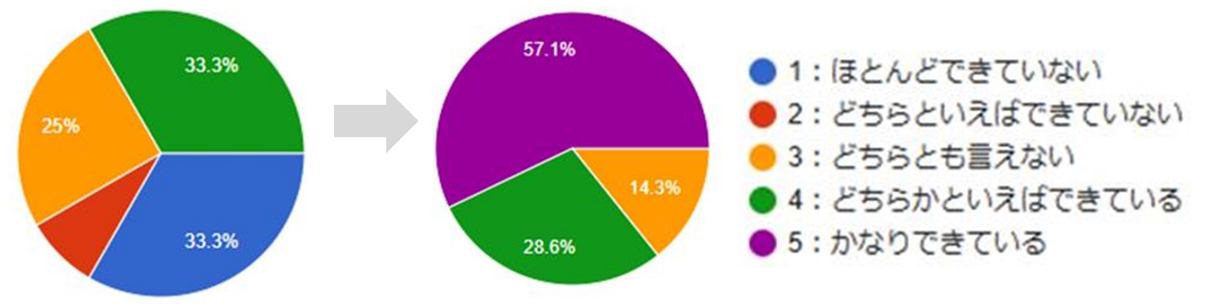
専攻医：後期研修委員会は自身の成長に役立っていますか？



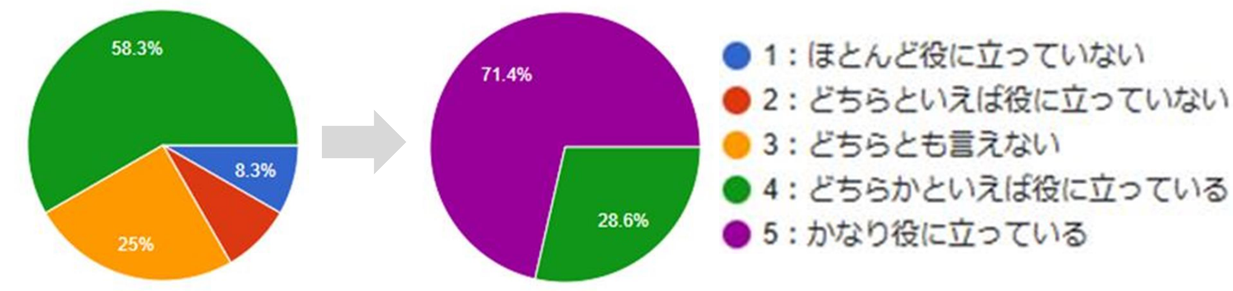
指導医：後期研修医の課題や目標を把握できていますか？



指導医：後期研修医の医師としての長期的なビジョンは把握できていますか？



指導医：後期研修委員会は自身の指導に役立っていますか？



考察／ネクストステップ

アンケートからは専攻医・指導医ともに、課題抽出・目標設定、長期ビジョンの獲得・把握に改善が見られた。
特に指導医から好意的な結果が得られ、10年以上指導に携わってきた指導医層から好評が得られたことに、システム変更の効果があったと判断できる。
長期・中期・短期目標の設定を専攻医自らが行い、指導医が1on1を通じて目標修正や自己省察をより促す形ができた成果と言える。
今後は専攻医同士の共鳴・育ち合いを担保するために、上級生にも指導医と似た「振り」の役割を求め、文化にしていきたい。

問い合わせ先：seiji-i@ga.yamanashi-min.jp

利益相反 (COI)の開示：発表演題に関連した開示すべきCOIはありません